



三善会四季報

はるか

2021. 夏号 No.138

み よし かい
三善会グループ

〒795-0046 大洲市春賀甲1688番地

- 障害者支援施設 大洲ホーム
- 大洲・内子・八幡浜市障害者相談支援事業
- デイサービスセンター 春賀
- 在宅介護支援センター 春賀
- 訪問ケアステーション 春賀
- グループホーム はるか
- 介護 タクシー 春賀
- グループホーム 春の風

TEL (0893) 26-1216 FAX (0893) 26-1217
ホームページ

<http://www.ecomnet.or.jp/~ohzuhome/>

メールアドレス

ohzuhome@ecomnet.or.jp



立正佼成会 清掃ボランティア



立正佼成会清掃

ボランティア

事務員 大本友美

6月27日、立正佼成会の男性会員9名による清掃ボランティアが行われました。

立正佼成会の皆様には、月に一度行われるニコニコタイム(模擬喫茶)の手伝いに女性会員が来ていただいています。

しかし、長びく新型コロナウイルスの影響で1年以上交流が出来ない状態でした。今回、立正佼成会の方のお申し出により、施設周辺の清掃をしていただきました。

雨の中、道路にはみ出した木の枝を切ったり草刈りをしていただいたおかげで、とてもきれいになりました。ありがとうございました。

特別養護老人ホームぎおん便り



ぎおん開設準備委員の発令

開設準備委員の発令

ぎおんの建物の全容が姿を現してきました。これを受けて、開設準備委員7名の人事が発令されました。

開設準備委員長 大西 三枝

開設準備委員 中岡 越子

樋口めぐみ

須内由美子

平井 美栄

松田ちひろ

和田 佳歩

開設準備委員は、10月オープンに向けて、入所される利用者がすぐに安心して暮らせるように準備を進めて参ります。

建築現場説明会

ぎおん・建築工事が最終段階に入り、徳永設計士の説明を聞きました。

機械浴室を中心とした構造物や地域交流室

は目に見える形となり、

利用者の居室は

内装工事にかかつて、

建物の9月引渡しに

向けて計画通り進ん

でいました。

屋上からは、ぎおん 祇園

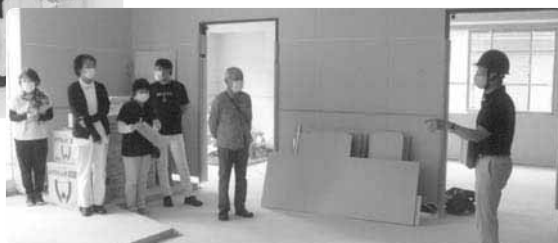
さんや肱川河口など

360度の眺望が楽

しめです。



祇園さんや肱川河口など 360 度の
眺望が楽しめる屋上



徳永設計士の現場説明

大洲ホームでの30年

利用者 菊池 蔦枝

大洲ホームのオープンと同時に入所し、はや30年が経ちました。

今年の10月で卒寿を迎えますが、大洲ホームでの生活は芸能ボランティアの慰問があったり、優しい職員に見守られて、マイペースで暮らしています。

今はコロナ禍なので叶いませんが、八幡浜の息子（美容院経営）に髪をカットしてもらえ、日を心待ちにしています。



卒寿を迎えられた菊池様

七夕笹飾り

生活支援員 黒澤大輔

コロナ禍で世の中全体が我慢を強いられている中、大洲ホームでは例年以上の大きな笹竹に飾りや短冊を、それぞれの願いを込めて吊るしました。



七夕に願いを込めて！

今年はリハビリレクにも飾り作りを取り込んで、とてもきれいな飾りがたくさんできました。

皆の願いが叶います様に！！

七夕や五輪もみんな無観客

利用者 高田栄作

「笑顔の写真展」開催

自治会役員 井上良一

自治会ひじかわでは、コロナ禍でも利用者さんが笑顔で過ごせる様に「笑顔の写真展」をホールにて開催しました。

自分のお気に入りの写真や切り抜き等の作品をスタッフ手作りのフレームに入れて展示しました。



約1週間の展示の後は、自治会からフレームに入った作品を利用者さん一人一人にプレゼントされます。

ホールでは、写真を見ながら笑顔あふれる光景をたくさん見ることができました。



職員手作りのフレームに入れた写真

とくし丸移動販売

自治会ひじかわ会長 大澤 亮

昨年に引き続きコロナ禍で外出できない利用者の為に、自治会で2回目の「とくし丸移動販売」のイベントを行いました。

感染対策でマスクと消毒をしつかりと行い、少人数ずつ、思い思いのショッピングを楽しんでもらいました。利用者さんは、いろいろな手にとって、とてもうれしそうに買っていました。

大変な時に、我々を笑顔にしてくれたとくし丸の職員さん、ありがとうございました。



とくし丸移動販売車

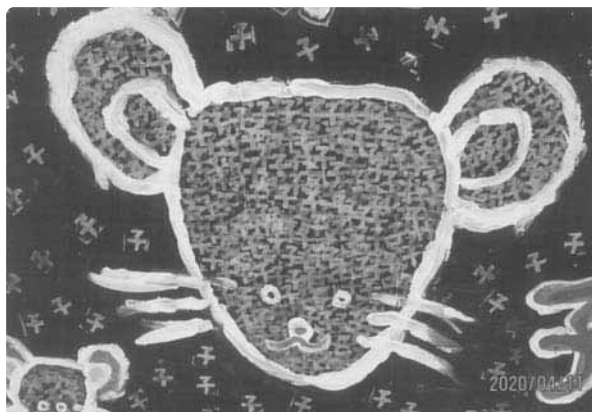
かまぼこ板の絵展

干支に因んで

「鼠」を表現

生活支援員 鎌田 梨江

昨年の全国かまぼこ板の絵展覧会
は、干支の「子」に因んで子の字を
ゴム消しに彫り、絵の具付けて鼠の
顔に仕上げました。



十支の「子」に因んで鼠の顔を表現しました

けれども、コロナ禍で展覧会は中
止となり次年度に持ち越したとなりま
した。

コロナが落ち着き、かまぼこ板の
絵展を見に行ける日を楽しみにして
います。

自治会バーベキュー

自治会役員 井上 良一

毎年恒例の自治会・家族会共
催のバーベキューを行いました。

7月
14日



お肉だいすき バーベキュー

コロナ禍で自粛ムードの中、
自治会としての今年度最初のイ
ベントでした。家族会からはフ
ランクフルトを提供してもらい、
大きな鉄板で焼き上がったお肉
を口に運びながら「おかわり」
の声があがっていました。

熱々と舌踊りたる
あつあつしたおど

バーベキュー

平高浩二



バーベキューに
御満悦！

利用者作品集

大洲ホーム文芸

大洲ホームの俳句教室は、
清水先生（八多喜町）のご指
導で毎月開催されています。
今回は春から夏にかけての
作品を紹介させて頂きました。



清水先生の俳句教室

卯の花にみとれる午後の通学路

高田 栄作

五月空今年も舞わぬ喧嘩風

平高 浩二

葛蒲湯につかって心和みたる

山本 松義

柏餅母の手作り思い出す

東 一郎

父の日に言葉少なくありがとう

徳山 聡

カラフルな梅雨の傘さし街に行く

島崎 公代

雨靴をわざと濡らして子供達

高田 栄作

七夕のカップル見たら僕の友

高田 栄作

足元に気持ひんやり打ち水を

島崎 公代

朝顔や垣根に上がり遊ぶ猫

徳山 聡

生け花教室

生活支援員 坂田 実千代

月に1度の泉美佐子先生（八多喜町）の生け花教室が多目的ホールで行われました。

今回は、夏の花ひまわりを題材に利用者さんは思い思いに生け花に挑戦されました。

生け花は、同じ花を使っても利用者さんの個性や感性で全く違った仕上がりになります。

生け終わった作品は、最後に泉先生に手直して頂きます。

利用者さんの生け花は、施設内に展示され、みんなの心を和ませます。



泉先生の生け花教室

ミュージックテーブル

7月
15日

作業療法士 窪 祐 樹

ミュージックテーブルをリニューアルして、週1回のリハビリレクリエーションを始めました。



ミュージックテーブルのリハビリレク

ミュージックテーブルは机を叩くだけで音が出て、音色も60種類もあります。

音楽は聞くだけでも心と体の両方へ働きかける事ができるため、身体だけでなく精神的なリラクゼーションも期待できます。

参加された利用者さんも楽しんで身体を動かしておられました。

「お楽しみレク」

生活支援員 大野 将寛

大洲ホームでは、職員がオリジナルティのあるレクリエーションを行う「お楽しみレク」を日中活動で行っています。

今回は、自分でアレンジを加えた「モグラたたきゲーム」を、利用者さんと楽しんで行いました。



モグラたたきゲーム

モグラにみたてた風船や輪を生懸命叩いている利用者さんや、それを見ながら笑いが止まらない利用者さんがいて大変盛り上がりしました。

フードドライブに参加

自治会代表 山田 保

フジグラン大洲で開催のフードドライブ活動に大洲ホーム自治会も賛同して、私達の気持ちを表現しました。



食料品を届ける自治会代表

フードドライブは、困っている人達や福祉施設に、私達のまわりにある食料品等を持ち寄って贈る小さな親切運動です。

自治会では、利用者と職員に呼びかけカップラーメン等を集めてフードドライブに届けました。

眠りスキヤンの導入

6月
24日

サービス管理責任者 城本 直也

愛媛県補助事業として、眠りスキヤン(介護ロボット)7台を設置しました。



ベッドに設置するだけで
パソコンやタブレットに
リアルタイムに状態が映し出されます。



眠りスキヤンは、ベッドに設置するだけでパソコンやタブレットにリアルタイムに状態が映し出されます。

利用者の健康チェックだけでなく状態把握^{はあく}や生活リズムの把握等、介護職員の負担軽減^{すぐ}にもなる優れ物です。

アルバムを開くと、その時々^{よみ}の光景が走馬燈のように甦返^{よみ}ってきます。
このたび発行した三善会30年史は、このアルバムの中から280項目を取り上げて編集しました。



▼ 21冊のアルバム帳



写真で見る
大洲ホームの暮らし
大洲ホームは平成3年9月1日にオープンしました。
ご利用者の皆さんが、これまで歩んでこられた日々の暮らしを克明にとらえた21冊のアルバムが面会室の本棚に置かれています。

年間研修

災害発生時の対応
西日本豪雨から学ぶ

生活支援員 高月 功 輔



災害に備えて研修会

あの西日本豪雨から三年が経ちました。あの時の体験を忘れない様に、又今後起きるかもしれない災害に備えて、我々が今出来ることを研修会を開いて学びました。

今回は、施設への浸水経路及びそうなった時の迂回路をビデオで確認しました。又急な停電時、カセットボンベを使った発電機の使い方を学びました。これからの台風シーズンやその他の災害に備え、利用者さんの安心安全な生活を守りたいと思います。

6月
28日

精神障害者の理解と対応

生活支援員 平 田 和 利

年間職員研修の一環として精神障害をテーマに、私が以前勤務していた精神科病院での経験をもとに、お話をさせていただきました。

初めての精神障害についての内容だった事もあり、多くの職員が参加しました。

職員全員が、障害者への理解を深め、利用者さんへのより良い支援に繋がる様努めてまいります。



職員研修会

新職員紹介



大洲ホーム
よしこ
山田 美子
じょくそう
正看護師で褥瘡ケアのスペシャリスト



大洲ホーム
たまよ
河野 珠代
障がい者と係わる仕事をしたい



大洲ホーム
たくま
寺谷 拓真
人の役に立てる仕事をしたい

訪問ケアステーション春賀便り

ハッピー

バースデープレゼント

ホームヘルパー 祖母井ひろみ
ご利用者の誕生日に、季節の花にメッセージを添えてハッピーバースデープレゼントをお届けしています。



ハッピーバースデープレゼント

私達ヘルパーのキャッチフレーズは「花のように 優しい笑顔で こんにちは」です。

ヘルパーは、おひとりお一人を思い浮かべながら季節の花をポットにアレンジして用意します。

社会福祉法人 三善会 会計報告

三善会理事及び評議員紹介

〈敬称略〉

理事(6名)

任期・令和5年6月

渦尻敬治郎(大洲ホーム施設長)

神山 諦典(金山出石寺住職)

瀧本 亀六(元三善公民館長)

泉 美佐子(元民生児童委員)

大塚 末男

(元大洲ホーム家族会長)

大西 三枝

(訪問ケアステーション春賀所長)

監事(2名)

任期・令和5年6月

榊田 與一(元大洲市長)

矢野 啓文(税理士)

評議員(7名)

任期・令和7年6月

上田 剛

(河原医療福祉専門学校教諭)

菊地 敏則(税理士)

柳野 清子

(元三善会職員・元民生委員)

頼永砂代子(民生委員推薦委員)

池本 真彦(弁護士)

山口 利子

(社会福祉協議会在宅福祉推進委員・元三善会職員)

松岡 強

(元大洲人権擁護委員協議会委員・八多喜町元町一區区長)

第121回理事会並びに第58回評議員会に於いて、令和2年度事業報告と収支決算について承認されましたので掲載いたします。なお、事業報告書等については、令和3年10月31日迄の平日(9時~17時)に閲覧できますので窓口までお申し出下さい。

令和2年度 資金収支計算書

(単位:円)

勘定科目		金額
事業活動による収支	事業活動収入計	600,897,382
	事業活動支出計	498,830,991
	事業活動資金収支差額	102,066,391
施設整備等による収支	施設整備等収入計	4,436,300
	施設整備等支出計	298,275,096
	施設整備等資金収支差額	△293,838,796
その他の活動による収支	その他の活動収入計	69,349,241
	その他の活動支出計	3,234,070
	その他の活動資金収支差額	66,115,171
当期資金収支差額合計		△125,657,234
前期末支払資金残高		1,248,941,466
当期末支払資金残高		1,123,284,232

令和2年度 事業活動計算書

(単位:円)

勘定科目		金額
サービス活動増減の部	サービス活動収益計	576,662,083
	サービス活動費用計	521,483,198
	サービス活動増減差額	55,178,885
サービス活動外増減の部	サービス活動外収益計	25,924,713
	サービス活動外費用計	374,400
	サービス活動外増減差額	25,550,313
特別増減の部	特別収益計	5,287,533
	特別費用計	4,166,311
	特別増減差額	1,121,222
税引前当期活動増減差額		81,850,420
法人税、住民税及び事業税		565,800
当期活動増減差額		81,284,620
繰越活動増減差額の部	前期繰越活動増減差額	1,510,167,370
	当期末繰越活動増減差額	1,591,451,990
	その他の積立金取崩額	35,000,000
	次期繰越活動増減差額	1,626,451,990

令和2年度 貸借対照表

(単位:円)

資産の部		負債の部	
勘定科目	金額	勘定科目	金額
流動資産	1,143,302,501	流動負債	36,801,269
固定資産	757,740,256	固定負債	39,440,114
		負債の部合計	76,241,383
		純資産の部	
		基本金	97,456,000
		国庫補助金等特別積立金	100,893,384
		次期繰越活動増減差額	1,626,451,990
		純資産の部合計	1,824,801,374
資産の部合計	1,901,042,757	負債及び純資産の部合計	1,901,042,757

グループホーム はるか便り

端午の節句に思いを馳せて…



みんなでいただきました。

利用者さんは甘い物がだい
すきなので、おはぎを作っ
て

空を飛ぶ

鯉幟つかみつかめず

ました。

幟を飾って遠い昔を懐かし
みました。

利用者さんは、兜やミニ鯉

ります。

5月5日は子供の日、国民
の祝日で端午の節句にも当
た

端午の節句

介護員 好崎 貴秀

リハビリ公園散策

リハビリ公園の西洋しゃくなげ
が綺麗に咲いたのでお花見をし
ました。



裏庭のしゃくなげの花が満開になりました

リハビリ公園は、日光浴や団ら
んの場としてこの春に整備され
ました。

うとうととまぶたとろける

春の午後

七夕祭り

介護員 中岡 ゆき

七夕祭りが近付くと、利用
者さんは短冊に願いごとを書
いたり、折り紙で輪っかを作っ
て繋ぎ合わせた飾り物を笹竹
に吊るします。

七夕や記憶の
底の童唄

今年の願い事は「コロナが
早く終息しますように！」み
んなのために祈りました。



七夕飾り

お誕生会

介護員 好崎 貴秀

利用者さんが90才の誕
生日を迎えられました。
県外にお住いの娘さんから
バースデーカードとプ
レゼントが贈られると、
少しはにかみながら受け
取っておられました。

苦も楽も

背中あわせに

生きてきた



90才の誕生日

デイサービスセンター 春賀便り

折り紙アート

介護員 石井 恵理

デイサービスセンター
春賀の玄関に、折り紙で
作ったあじさいやで
る坊主を飾って利用者様
をお迎えしています。

ホールの壁画には、ユー
モラスな雨がえるやでん
でん虫の折り紙を展示し
て、四季の変化を体感し
てもらえるように工夫し
ています。



玄関の折り紙アート

6月
22日

「災害に備えて」

所長 上満 佐智子

「自分は大丈夫だろう」という気持ちが
大変なことになります。

3年前の西日本豪雨災害で自宅が浸水被
害を受けた増田看護師から災害に備えての
教訓を聞きました。

いつ災害に遭遇するかもしれません。「避
難」「安全」「情報」について、日頃から家
族と話し合いたいと思いました。



災害に備えてのお話

七夕祭り

介護員 城本 明穂

七夕が近付くと、利用者さんはこの日を楽しみに
願い事を短冊^{たんざく}に書いたり、色紙で飾り物を作って準
備をします。

七夕や願いの重さしなる竹

ホールは大きい笹飾りで七夕祭りを盛り上げます。

今年は玄関にも

豪華な七夕を飾り、
お客様をお迎えし
ています。

七夕祭りは外国
にもあるそうで、
世界の人達が同じ
空を見上げて、同
じように祈る、不
思議を感じます。



玄関の七夕飾り

消火訓練

介護員 山本 太紀

大洲消防署の立ち合いで
消火訓練を行いました。火
事だ！の通報で消火訓練が
始まりました。

消防署への通報

利用者の誘導避難

初期消火

一連の消火訓練を実施し
て消防署のアドバイスを頂
きました。



デイサービスの消火訓練

消防署からは「いざと言っ
時に、自然に身体が動くよ
うに！」とのこと指導がありま
した。

グループホーム 春の風便り

母の日のプレゼント

介護員 山本 鮎奈

母の日に県外にお住いの息子さんから花束が届きました。

コロナ禍で、面会できない寂しさが続いています。今日は息子さんの優しい気配りに涙ぐんでおられました。一日も早いコロナの終息を願っています。



息子さんから
母の日のプレゼント

春の風運営推進会議

介護員 長 壁 新

令和3年度の春の風運営推進会議が開催され、地域住民代表や家族の代表等に御参加頂いて助言や意見交換を行いました。

運営推進委員

城戸 忠彦 様（近隣住民）
田 渕 純 一 様（民生委員）
頼 永 砂 代 子 様（婦人会長）
中 村 惣 一 様（長浜高校長）
谷 田 佳 織 様（長浜保育所長）
和 田 憲 司 様（市役所職員）



春の風運営
推進会議

読み聞かせボランティア

所長 徳 森 利 弘

長浜読み聞かせ会の皆さんが春の風のオープン以降毎月慰問して下さい、いろんな本を読んで頂きます。

お話の合間には、気分転換に手指体操をしたり、頭の体操を入れて楽しませて頂きます。



読み聞かせボランティア

きゅうりの収穫

介護員 西山 そね子

春の風のミニ菜園で育てたきゅうりが、段々大きくなつていくのを利用者さんは見守っておられました。「そろそろ取り頃だなあ」朝の涼しいうちに収穫されました。



きゅうりの収穫

利用者さんは自分の手で育てたきゅうりの収穫に、また格別な思いがあるようでした。

リレー随想

『マヤ暦』を学んで

調理員 清水千音



『マヤ暦』と

は、古代マヤ人が使っていたと

される暦で、生年月日からその人を繙き、本当の自分や強み、生きるヒントが分かります。又、親子・夫婦・友人…人間関係などその人との関係性を知ることができます。

人間関係ですごく悩んだ頃、マヤ暦と出会い学んでいくことで、色々な違いを知ることができて見方が変わり、少しずつ楽に生きれるようになりました。少しでも周りの人を元気にできればいいなあと思います。

ニチニチソウ

事務員 伊藤知栄美

梅雨の晴れ間、玄関の花をビオラからニチニチソウに植え替えました。ニチニチソウの花言葉は「楽しい思い出」「友情」。次から次へと花が咲く姿が友達同士で楽しんでいる様子を連想させるからだそうです。

長引くステイホームのなか、どこかに出掛けて思い出をつくるのは難しいですが、いつも一緒にいる大切な人との時間が少しでも楽しいものになりますように。

ニチニチソウは、初夏から秋まで楽しめます。



玄関のフラワーポット

村の歳時記

夏越の祓

夏越の祓は、1年の折り返しに当たる6月30日に祇園神社で行われる季節の神事です。

1～6月迄の半年分の穢れを落とし、残り半分の無病息災を祈願します。

夏越の祓は「人形」と呼ばれる人の形をした紙を使った行事です。

人形に自分の名前を記入し、その人形で体の悪い部分を撫でて穢れを移します。

神社では祓詞を奉上し罪穢れを祓い清めて、家族の健康と繁栄を祈願します。



ひと言…

本号は、春から夏にかけての三善会グループの暮らしの一端を切り取って編集しました。今回も多くの方々のご投稿を頂いて発刊することができました。ご協力に感謝します。

身置き場なき
昼さがり

夏本番となり、くま蟬の鳴き声が一段と賑やかになりました。

編集後記